

令和6年度 障がい者スポーツ特別研修会開催要項
岩手パラスポーツ指導員サミット
～ みんなでつくる岩手のパラスポーツビジョン ～

1 趣 旨

「希望郷いわて大会（2016年）」、「東京オリンピック・パラリンピック大会（2020年）」は、岩手県内におけるパラスポーツへの関心を高めるきっかけとなり、多くの方がパラスポーツ指導員の資格を取得し、それぞれの地域で活躍しています。地域におけるスポーツ活動は、指導員やボランティア、障害当事者やご家族の方など多くの地域に住む方々に支えられています。しかし、各地域での点と点の活動をつなぎ、ノウハウや取り組みのビジョン（設計図）を共有する機会はこれまであまりありませんでした。

そこで本研修会では、岩手県や近県で活躍するパラスポーツ指導員の方、障がい当事者やご家族の方、行政や教育機関・医療機関の方などパラスポーツに関わる方々にお集まりいただき、情報やノウハウを共有しながら今後の取り組みのビジョンを一緒に考えていきたいと思っております。

2 主 催 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

3 主 管 岩手県障がい者スポーツ指導者協議会、一般社団法人日本車いすインストラクター協会

4 後 援 公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人岩手県スポーツ協会
公益社団法人日本青年会議所岩手ブロック協議会、ふれあいランド岩手
岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、岩手県スポーツ推進委員協議会
岩手県特別支援学校連絡協議会、NPO 法人岩手県レクリエーション協会
一般社団法人岩手県理学療法士会、一般社団法人岩手県作業療法士会
岩手県障がい者社会参加推進センター（以上、予定団体）

5 実施概要

(1) 日時：令和6年12月22日（日）10：00～15：00（受付9：30～）

(2) 会場：ふれあいランド岩手・ふれあいホール（1階）

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 / TEL 019-637-1000（総合案内）

(3) 日程表 9:30 10:00 10:10 10:30 12:00 13:00 14:50 15:00 16:00

受付	開 会 行 事	話 題 提 供	ビジョン作成のための ワークショップ	休 憩	ビジョン作成のためのワーク ショップ	閉 会 行 事	情 報 交 換 会
----	------------------	------------------	-----------------------	--------	-----------------------	------------------	-----------------------

(4) 定 員 会場 30 名程度（受講料無料）

※定員にて申込を締め切らせていただきます。また、県内の受講希望者を優先させていただく場合がありますのでご了承ください。

6 申込方法 別紙申込書により、郵送・FAX・Eメール等によりお申込みください。

※申込締切 令和6年12月18日(水)

7 申込・問合せ先

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会（〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3）

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626 / E-mail: info@iwate-adaptive.or.jp

8 その他 当日、体調不良がある場合、ご参加はお控えください。

9 内容

(1) 社会的インパクトマネジメントとロジックモデル

例えば、岩手県沿岸部で行われている卓球バレーの大会は元々障害のある方を対象に普及が進んだ事業でしたが、継続して大会等を行うことにより、地域の高齢者の参加機会にもなっています。また久慈市で行われている大会では防災研修を大会と同時に開催することで大会の実施が地域の防災力の強化にもつながっています。このように実施している事業が社会に対して提供をしている新たな価値を社会的インパクトと言います。これを事業に関わる様々な立場の人が共通認識して事業を行い、評価することで、事業自体の価値が高まるだけでなく、持続可能性が高まっていきます。このような取り組みを社会的インパクトマネジメントと言い、これを行うために様々な立場の人が共通認識をしやすいようにロジックモデルを作成します。スポーツ庁において第三期スポーツ基本計画の中でスポーツを普及する活動がどのような社会的インパクトを生み出すかということロジックモデルを作成して示しています。



参考：スポーツ庁が発表したロジックモデル

(https://www.mext.go.jp/content/20240621-mxt_kaiquesou02-000036613_5_3.pdf)

そこで、本年の特別研修会においては、岩手県内でパラスポーツに関わる様々な立場の方々に集まっていたいただき、共通のビジョン（設計図）を作るためのワークショップを行います。

(2) ワークショップの進め方

※このワークショップはレゴ®シリアスプレイ®の公認資格を持つ3名のレゴ®シリアスプレイ®修了認定ファシリテーターによって実施されます

本研修会ではレゴ®ブロックを使って手を動かしながら抽象的なイメージを「見える化」し、他者とのコミュニケーションを通してそのイメージを共有していく「レゴ®シリアスプレイ®」の手法でワークショップを進めていきます。様々な立場の人が集まり、会話や議論を行うと専門性の高い人やリーダーシップのある人に発言の機会が偏ってしまうことがあります。レゴ®シリアスプレイ®では、参加する全ての人々が等しく発言をし、それぞれの意見を尊重して聴くことができるため、年齢、性別、障がいの有無など立場や状況が異なる人が集まっても建設的にワークショップを進めることができます。

「レゴ®シリアスプレイ®」はレゴ®ブロックを使ったワークショップで、2000年ごろにLEGO®社によって開発されました。その手法は、MIT（マサチューセッツ工科大学）メディアラボのシーモア・パパート教授が提唱した教育理論「コンストラクショニズム（手を動かしながら考える）」に基づいており、NASA や Google を始めとした企業でも導入されていて、世界中で実施されているワークショップの一つです。実施には、所定のトレーニングを受けた公認ファシリテーターが必要、且つ規定の「レゴ®ブロック」のセットが決まっており、本研修会でも公認ファシリテーターが既定の「レゴ®ブロック」を使ったワークショップを進めていきます。誰もが一度は遊んだことのある「レゴ®ブロック」を活用して、頭の中のイメージを見える化します。「レゴ®ブロック」の作品を通して、普段なかなか言語化しにくいチームメンバーの想いやビジョンについて対話することで、「共通のビジョン作り」「チームビルディング」などの効果が期待できます。

本研修会では共有されたビジョンを元の後日、ワークショップの成果としてロジックモデル案を作成し、公開します。

(3) 情報交換会（15:00 -16:00）

ワークショップ終了後、同じ会場で研修会の参加者の交流を目的として情報交換会を開催します。